

こんな野球がしてみたいー。

ある意味、野球は偏ったスポーツだと思う。普段、僕らがやっている野球は、バッターはボールを打つと、必ず「一塁」へ走って行く。右打ち選手も左打ちの選手も、振り逃げしても、四死球でも、バッターは必ず「一塁」方向に進む。

そこで、こんな風に変えてみるのだ。塁にランナーがいない場合、バッターは、一塁方向と三塁方向のどっちに向かって走ってもかまわない。つまりバッターが選択できるのだ。ただし、いったん回る方向が決まると、ランナーがいる限り、同じ向きに回らなければならない。

例えば、ボテボテのゴロが一塁方向に転がる。通常ならアウトになる確率が高い。だから、そうならないよう、「三塁」に走るのだ。あるいは左中間ヒットを三塁から回れば、三塁打になる可能性も十分に出てくる。

これで、何が変わるか？ 普段僕らがやっている草野球は、他のスポーツと比べると、のんびりしている。1試合の守備でボールに触れる機会も少ない。そこに、緊張感が生まれるのだ。今、「どちら回り」なのかを常に把握していなければならぬ。守備の形も、走る向きによって、変わるだろう。

観客も楽しめる。勘違いプレーも続くだろう。二塁ランナーと三塁ランナーが正面衝突したり、外野手が一塁ランナーのタッチアップを忘れてたり……。

これは、草野球の方が面白いでしょう。会社の支店對抗試合とか、盛り上がると思うな。9回の裏、ツーアウト満塁なんて場面、どっち回りだったかを確認しようと、何度もタイムがかかりそう。ランニングホームランを打ったら大変ですぞ！ なんせ、時計回りの走りなんて、陸上競技を含めても見かけないのだから。走ってみますか。ハアハア……。

【朝日新聞・マリオン】

2007年3月14日掲載